

Feel The Color

アスベストフリー 天然アスファルト厚膜形長期防錆塗料

# エバーラーフ #200N



神東塗料

# 亜鉛引鋼板屋根・カラートタン屋根の塗替え周期が延長できる画期的な塗料

エバールーフ#200Nは、当社の永年蓄積された重防食の技術ノウハウをもとに開発された商品であり、高防食性を有し、さび面へ浸透性を持たせた天然アスファルト厚膜形長期防錆塗料です。

エバールーフ#200Nは、鋼板屋根の塗替え周期を従来に比べて3~4倍に延長でき、ライフサイクルコストが極めて割安になります。(図2参照)

## 概要

鋼板屋根は太陽光線や気象条件などの影響をまともに受け、さらに工業地帯や都市部では大気汚染の増大、および海岸地帯では海塩粒子等の影響を受け腐食被害が増大し、これらに対する屋根材の耐久性向上が大きな課題となっています。

このため鋼板屋根は定期的な外観点検を行い、適切な時期での塗替えが必要ですが、従来のオイルペイントや合成樹脂ペイントでは2~3年の周期で塗替えねばなりません。

よって人件費の高騰、腐食性環境の増大等もあって鋼板の塗替えは、材料費より人件費の方がはるかに高くなっています。

この塗替え周期を延長させ、塗替え費用を大幅に節約できるのがエバールーフ#200Nです。

## エバールーフの特徴

### ●長期防錆力があります

特殊天然アスファルト、アルミフレークの他、さび面への特殊浸透剤などの配合により長期防錆力を発揮します。

### ●熱反射効果があります

アルミフレークの鱗片の幾重もの重なりによって、太陽光線を65%以上反射（シルバー色の場合）し、屋根表面温度上昇を抑制します。(図1参照)

### ●温度変化に強く塗膜剥離がありません

特殊天然アスファルトの配合によって、塗膜は弾力性・柔軟性に富み、夏・冬の温度差に耐え塗膜剥離もなく長期間鋼板屋根を保護します。

### ●厚膜に塗装できます

1回塗りで200μm以上の乾燥膜厚が得られ、長期防錆効果を発揮します。

### ●密着性が優れています

各種旧塗膜、素地との密着性は極めて良好で、新しい亜鉛引鉄板にもウォッシュプライマー不要で密着します。

図1.熱反射効果について

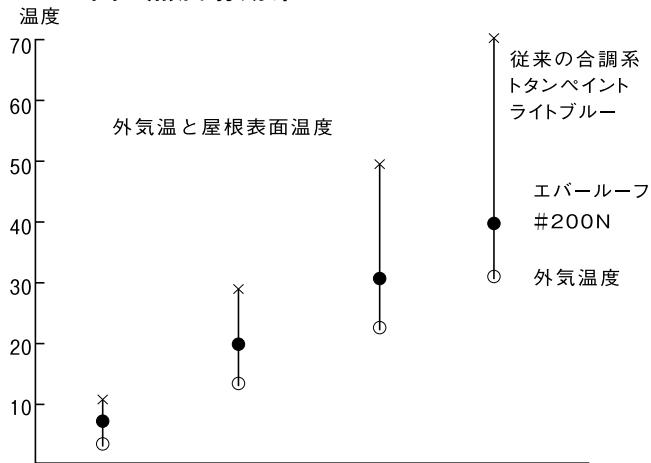


図2.経済性について (LCC)

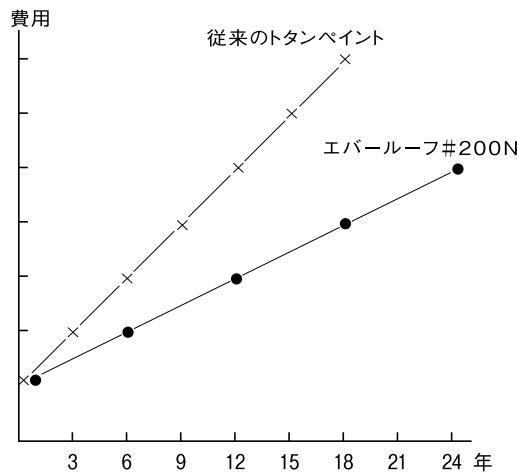
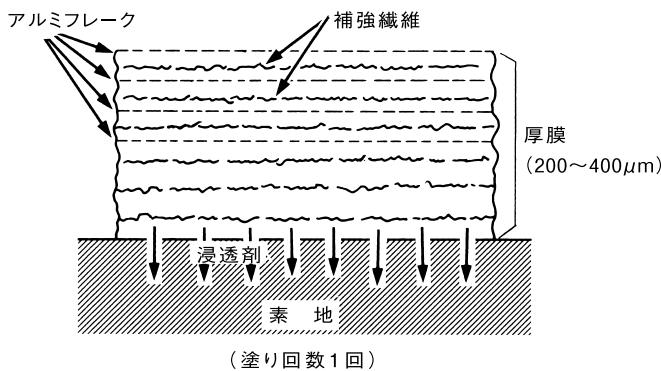
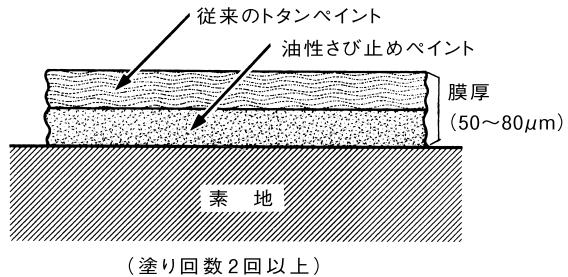


図3.エバーラーフ #200Nの塗膜



従来の合調系の塗膜



## エバーラーフの防錆力

天然アスファルト、補強繊維、アルミフレーク、浸透剤等が相互に補強補完しあい、塗膜が図3のような構成、すなわちアルミフレークが塗膜表面にリーフィングし、水分・環境腐食要因を遮蔽すること、および浸透剤の素地（さび）への浸透により長期に防錆力を発揮します。

## エバーラーフの用途

- 工場、倉庫、体育館等の屋根（カラートタン屋根、亜鉛引鉄板等の鋼板屋根）
- 配管プラント、タンク鉄鋼構築物など

塩ビ鋼板屋根の塗替えにもエバーラーフ #200N塗装システムが可能ですが事前に当社へご相談ください。

## 標準塗付量と塗り面積

シルバー 500g/m<sup>2</sup> (40m<sup>2</sup>/20kg)

## 関連製品

- RAテープ：市販品
- フックボルト用キャップ：市販品

## 色相・容量

シルバー 20kgペール缶

実際の塗装色相とは異なります。

(注) 塗装時の色相は、この塗り紙より褐色味をおびています。また、塗装時の気温や風等によって厚く塗られた部分が黒ずんだ色むらになる事がありますが、3～6ヶ月経過しますとアルミフレークがリーフィングし均一になります。

## 塗装方法

- スプレー：1回で平均して乾燥膜厚が200μm以上（塗付量500g/m<sup>2</sup>以上、）になるようチップの大きさ、ガン移行速度を加減して塗装してください。
- はけローラー：1回で所定の膜厚（200μm以上）を確保することは難しいため、1デイ1コートで2～3回塗装し、膜厚（200μm以上）を確保して下さい。

### エアレススプレー・塗装機の条件

- ガンはリバース式ガンをご使用ください。
- 圧力比 45 : 1
- 一次圧（ポンプ圧）0.3MPa以上
- 二次圧（吐出圧）13.5MPa以上
- 吐出量 4L/min以上
- コンプレッサー 5HP以上  
ただし、ホースの長さ・屋根の高さ等の条件により高馬力のコンプレッサーが必要となります。  
※屋根の高さ10m以上、ホース50m以上の場合は8HP以上必要

## 塗膜性状表

項目	性状
塩水噴霧試験 (5% NaCl)	50hr 異常なし
塩水浸漬試験 (3% NaCl)	1ヶ月間 異常なし
促進耐候性試験 (サンシャインウェザオメーター)	1,000hr 異常なし
冷熱サイクル試験	-20°C・16hr～80°C・8hr 50サイクル異常なし
耐水性	水道水 3ヶ月間浸液 異常なし
エリクセン試験	5mm 異常なし
付着性	磨軟鋼板、亜鉛引鋼板、カラートタン、異常なし

## 標準塗装仕様

工 程	実 施 内 容
素 地 調 整	(1)ごみ、汚れ、コケ類、油類を清掃する。 (2)浮きさび、旧塗膜の浮き部分を除去する。 (3)3種ケレン（ISO-Stl）程度の処理を行う。 (4)水道水により水洗または高圧水洗（6.0MPa以上）を行う。 (5)穴・亀裂等がある場合はRAテープ、コーティング材で処理する。 (6)水分が全くない乾燥状態であることを確認する。

### 1.新設屋根（鋼板屋根・亜鉛引鉄板・カラートタン）の場合

工 程	塗 料 名	塗 装 方 法	塗装回数	塗付量g/㎡	乾燥膜厚(μm)
素 地 調 整	上記（1）～（6）清掃後エアーで吹き払い、油脂分は溶剤等で十分拭きとる、水分は布等で拭きとる。				
先 行 塗 り (注2)タッチアップ	エバールーフ #200N (塗料用シンナー約10%希釈)	は け	1回	—	—
上 塗	エバールーフ #200N (注1) (無希釈)	ス プ レ ー	1回	500以上	200以上
		は け・ロ ー ラ ー	3回	500以上	200以上

### 2.塗替え屋根（旧塗膜・発錆）の場合

工 程	塗 料 名	塗 装 方 法	塗装回数	塗付量g/㎡	乾燥膜厚(μm)
素 地 調 整	上記（1）～（6）、ワイヤブラシ等でさびをケレンしスクラーパー、サンダー等で旧塗膜を除去する。				
先 行 塗 り (注2)タッチアップ	エバールーフ #200N (塗料用シンナー約10%希釈)	は け	1回	—	—
上 塗	エバールーフ #200N (注1) (無希釈)	ス プ レ ー	1回	500以上	200以上
		は け・ロ ー ラ ー	3回	500以上	200以上

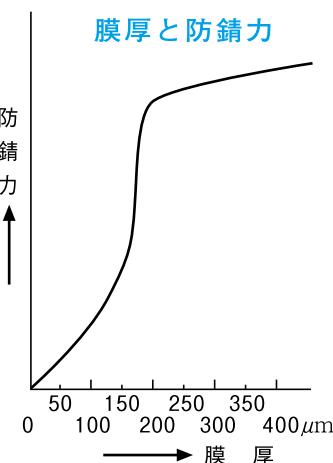
（注1）冬季等低温で作業に支障をきたす場合、塗料用シンナー3%以内希釈する。

（注2）発錆面に十分浸透させるため、塗料用シンナーで10%希釈する。ボルト部、瓦棒屋根さん部、トタン板継ぎ目部、軒下エッヂ部等はけで先行塗りを行う。

（注3）はけ、ローラーの場合、1回/1日塗装し1層目は薄くなりますが、2層目以後を順次厚く塗装して所定の膜厚に仕上げる。

#### 塗装上の注意事項

- 膜厚が200 μm以下（塗付量500g/m<sup>2</sup>）ですと防錆力が極端に低下しますので必ず塗付量500g/m<sup>2</sup>以上（Wet膜厚460 μm以上、乾燥膜厚200 μm以上）塗付してください。
- 直射日光が当る部分と、當時日陰の部分では塗装1～2ヵ月以後の色相が異なることがあります。
- エバールーフ #200Nの希釈および用具等の洗浄は塗料用シンナーを使用してください。
- 塗膜が十分に硬化しないうちに塗面上を歩行しますと、スリップすることがありますので注意してください。
- エバールーフ #200N塗装後テープ養生等する場合は、最低7日以上養生乾燥が必要です。
- 当品を使用することにより、以後、塗替えは同系塗料の使用が必要です。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の気象条件および秋・冬季での午後3時以後の施工は避けてください。
- 過去2回以上塗替えていている場合は、塗装後、旧塗膜からハクリすることがありますので旧塗膜を除去してください。
- 乾燥膜厚が極端に厚く（乾燥膜厚600 μm以上）なると黒変することができますので、塗装の際注意してください。ただし、黒変した場合でも塗膜性能は問題ありません。むしろ防錆力は向上します。
- フックボルト付設されている屋根はフックボルト部の処理費用、塗装費用（キャップ施工またははけ塗り）が別途必要です、施工前に十分打合せてください。



## 塗料性状表

項目		性状
組成	項目 色材	特殊天然アスファルトおよび特殊合成樹脂
	アルミおよび着色顔料	アルミフレークおよび着色顔料
	体质顔料	長纖維系体质顔料
	溶剤・その他	炭化水素系溶剤、浸透剤
密度(20°C)	度	1.08~1.18
粘度	度	3~8 Pa·S
不揮発分(%)		58~62
タレ限界		1,000μm (Wet)
乾燥時間	250μm 20°C	指触1hr、半硬化8hr、歩行可能時間3日以上
引火点	度	32~34°C
発火点	度	245°C
危険物分類		第4類第2石油類 危険等級III

## 取り扱いに関する一般注意事項

### 調合

- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するように心がけてください。
- 塗料は使用する前に十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
- 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。

### 調合

- 気温5°C以下、温度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 被塗物の表面温度が50°C以上の場合、塗装を避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
- 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 塗装器具の洗浄には塗料用シンナー等をご使用ください。

### 緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

### 廃棄

- 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

### 緊急時の対応

- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を厳守してください。
- 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

### 製品に関するお問い合わせ

北海道	☎ (0123) 32-0431 FAX (0123) 34-6199	北 陸	☎ (076) 262-1305 FAX (076) 262-1315	四 国	☎ (087) 841-1251 FAX (087) 843-3108
東 北	☎ (022) 285-7915 FAX (022) 285-7813	名古屋	☎ (052) 612-0293 FAX (052) 612-0318	九 州	☎ (092) 472-2222 FAX (092) 473-5777
東 京	☎ (03) 5690-0544 FAX (03) 5690-0553	大 阪	☎ (06) 6426-3763 FAX (06) 6429-6268		
静 岡	☎ (054) 245-0135 FAX (054) 247-4091	中 国	☎ (082) 264-6822 FAX (082) 264-6821		<a href="https://www.shintopaint.co.jp/">https://www.shintopaint.co.jp/</a>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。